

Doctor's Data 社 Vitamin D; serum 及び Zonulin; serum

検体作成手順

検査を始める前に:

説明書をすべて読み、採取手順をよく理解してください。

この検査は特別な食事を必要としません。検体採取の 72 時間前からは、医師からの指示がない限り、 unnecessary 薬剤と栄養補助食品の摂取を抑えることが一般的に推奨されます^{*}。処方薬の服用については、担当の医師への相談、指導を受けることなく服用を中断しないでください。

検査キットの中身:

赤いふたの血清用採血チューブ	1 個
キャップ付きの 8mL の血清トランスファーバイアル	1 個
トランスファーピペット(プラスチック製)	1 個
ジップロックバッグ(吸収性パッド入り)	1 枚ずつ
検査申込書	1 枚
保冷剤	1 個
検体作成手順(本用紙)	1 枚

(検査キットには使用期限があります。使用期限は検査キット箱側面に記載されています。使用期限内にラボにて分析が可能となるようにお使いください。)

その他、キットと別に(検体の発送にかかわるもの)

FedEx 送り状 (Air Waybill) 1 枚

インボイス (CUSTOMS INVOICE) 3 枚

FedEx 検体発送方法 1 枚

FedEx UN3373 Pak..... 1 枚 (検体発送時のビニール製封筒です)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス (Detox Co., Ltd.)

Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

キットの外箱は検体を米国ラボに郵送する際に使用しますので、破棄しないでください。

検体作成手順:

1. 採血チューブと血清トランスファーバイアルに患者名、生年月日、検体採取日を記入します(英語表記)。バイアルに患者の情報が正しく記入されていない場合、検査は行われません。
2. 赤いふたの血清用採血チューブに採血をします。
3. チューブを最低 15 分垂直にしたままにしておき、血液を凝固させます。
4. 採血から 2 時間以内に、赤いふたの血清用採血チューブを 15 分間遠心分離機にかけます。
5. 遠心分離後、トランスファーピペットを使って、分離させた血清(上層部)を 8mL の血清トランスファーバイアルに移します。最低 2mL が分析に必要です。

6. 赤いふたの採血チューブとトランスファーピペットは破棄してください。
7. 血清トランスファーバイアルと保冷剤を、吸収性パッドが入っているジップロックバッグに入れ口を閉じます。

そして少なくとも 6 時間冷凍庫入れ、血清検体を凍らせませす。
8. 検査申込書を完全に記入し、担当医の署名があることを確認してください。**申込書が正しく記入されていない場合、検査は行われません。**正しく記入した申込書はキットの外箱に入れてください。以上をもって検体の発送準備が整います。
9. 発送の準備が整ったら、凍った血清検体と保冷剤を入れたジップロックバッグを冷凍庫から取り出しキットの外箱に入れてください。血清検体・検査申込書を入れたキットの外箱を検体発送用 FedEx UN3373 Pak に入れ封をします。

「FedEx 検体発送方法」をご覧ください。

最良の検査結果を得るためにも、できる限り早い検体の発送を推奨します。週末や祝日など、採取日に発送が出来ない場合は、発送の準備が整うまで検体を冷凍してください。

※ Doctor's Data 社では、検体採取の 72 時間前からは、医師からの指示がない限り、不必要な薬剤と栄養補助食品の摂取を控えるよう推奨しています。これは同社では検査結果に影響する可能性のあるすべての薬剤や栄養補助食品についてその影響が確認されていないとしているからであり、念のため可能であるならば上記アドバイスを推奨しています。